

日高村におけるグラウンドワーク手法による環境維持・地域づくり活動

高知県 日高村

特定非営利活動法人 グラウンドワークひだかむら



喜びの声



受賞者
 特定非営利活動法人
 グラウンドワークひだかむら
 理事長
 中野 益隆

コメント

この度の受賞は、この上なく喜ばしくありがたいことと存じます。
 なにより、ご指導ご支援をいただいた方々をはじめボランティア精神に燃え参加され続けてこられた会員の活動の賜物と感謝の気持ちでいっぱいです。
 今回の栄えある受賞を励みに、魅力ある地域づくり目指し活動を続けて参りたいと思います。
 皆さま是非、高知市から意外と近い村「日高村」に訪れていただければと思います。

活動の内容

- 遊歩道の整備など環境改善活動
- 草刈り等環境整備・維持活動
- アジサイ・桜などの植樹活動
- 生き物観察会など環境教育活動
- アジサイまつり、渋川トンボまつり、メダカフェスティバルなどイベントの実施

活動の経歴

平成 7年 わくわく湿地探検隊のスタート
 平成 9年 日高村グラウンドワーク推進協議会設立
 平成24年 特定非営利活動法人 グラウンドワークひだかむら設立
 以後活動を継続中

3 活動の成果や波及効果等

来客者にも「キレイな日高村の景観を!」といった住民意識が広がり、イベント前には別の箇所も含め個人グループなどが清掃活動を行うようになっており、環境に対する気運が高まっています。
 環境整備活動については、例年少しづつ参加人数が増えてはいるものの、高齢化も進みつつあり、より多くの参加者を募る取り組みが必須となっていますが、イベントの参加者も年々増え、環境整備・生物多様性の啓発には十分寄与しているところです。
 近傍で国土交通省が整備している日下川新開放水路が「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」の社会実験を実施するモデル地区に選定されたこと等も受け、行政や周辺自治体の関係部署と連携した観光産業・地域交流等での取組にも参画したいと考えています。

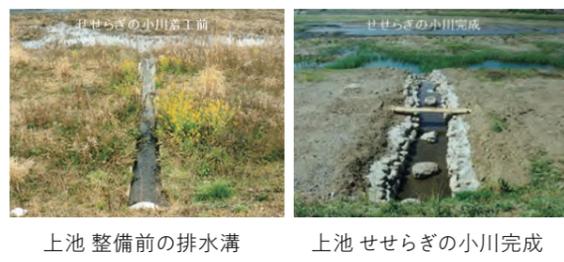


- **所在地** 高知県高岡郡日高村本郷2646番地2 (メダカさん家)
- **活動主体及び連絡先** 特定非営利活動法人 グラウンドワークひだかむら (事務局受託日高村観光協会: 0889-24-5888)
- **対象となる社会資本** 日下川調整池・渋川砂防ダム ※管理者:高知中央西土木事務所河港建設課



1 社会資本の概要

高知県中央部を流れる仁淀川の中流で合流する日下川は、延長12km程度の河川で、これまでも大雨の際に、日下川調整池周辺で氾濫を繰り返してきました。そのため、洪水時の調整池として日下川調整池は治水上重要な役割を果たしてきました。
 また、日下川調整池は高知県内で最大規模(約14ha)の内陸型湿地で、様々な鳥類、魚類、植物が生息・生育していますが、洪水調整池という性質上、湿地に安全に近づけない状況でした。
 内陸型湿地である日下川調整池を最大限活用するために、調整池周辺で遊歩道の整備や観察路整備(メダカ池、水路整備)、植樹等を実施し、環境教育やレジャーの場としても安全に活用できる空間として整備しました。
 日下川調整池は平成4年度ごろほぼ現在の形となり、日高村の治水施設として大きな役割を担っています。



2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

日高村では、平成7年に高知県生態系保護協会から日下川調整池に豊かな自然があるため、その自然を活用する取組について提案を受けました。その後、高知県生態系保護協会が講師になり、子どもを対象として自然を活かした生物観察会「わくわく湿地探検隊」等を平成7年から実施しています。
 また、日下川調整池の周辺を利用して、教育委員会等が主催するマラソンイベント等も行われています。
 その他各種イベントの前には積極的な清掃・草刈りなどの整備の実施、湿地帯での産業の一つであった「コリヤナギ」を見せる取組なども行っています。

